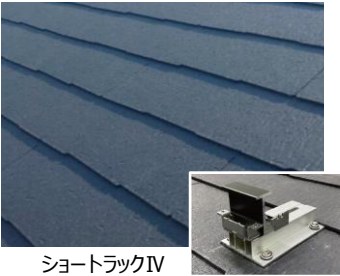
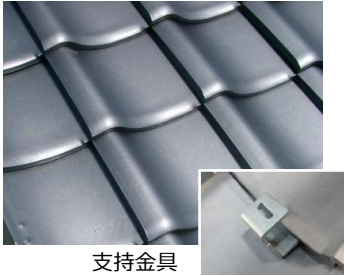


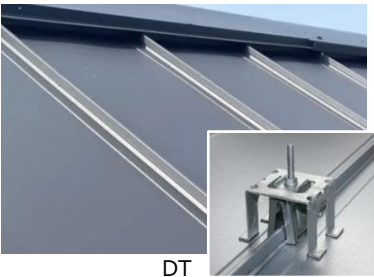
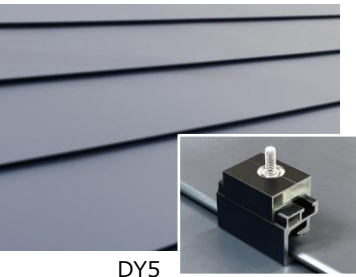
(2) 太陽光架台を設置する屋根の種類〔住宅／産業〕

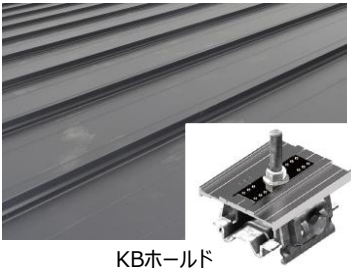
太陽光架台は、設置する屋根の種類によって使用する金具が異なります。
当社架台商品と対応する屋根勾配も合わせてご確認ください。

1) 住宅屋根に太陽光架台を設置する場合

太陽光架台を設置する住宅用屋根は、以下の種類があります。

屋根種類	化粧スレート屋根	瓦屋根	アスファルトシングル屋根
	 ショートトラックⅣ	 支持金具	
DH商品/ 対応屋根 勾配	ショートトラックⅣ／2.5～10寸 ベース金具Ⅱ／2.5～10寸	支持金具／2.5～10寸 支持瓦Ⅱ／2.5～10寸 アンカー／2.5～10寸	ベース金具Ⅱ／1.5～10寸

屋根種類	金属立平葺屋根	金属横葺屋根	石粒付鋼板屋根
	 DT	 DY5	
DH商品/ 対応屋根 勾配	DT、DR0／0.5～6寸 THホルドライト／0.2～6寸 ベース金具Ⅱ／1.5～10寸	DY5／2.5～10寸 ベース金具Ⅱ／2.5～10寸	DK1／2～10寸

屋根種類	金属瓦棒葺屋根
	 KBホルド
DH商品/ 対応屋根 勾配	KBホルド／0.5～6寸 ベース金具Ⅱ／1.5～10寸

● リフォームと太陽光発電

屋根の改修には大きく二つの方法があります。
既存の屋根材をすべて撤去して新たな屋根材を葺くという方法と、既存の屋根材に新たな屋根材で覆う方法（いわゆるカバー工法）があります。近年屋根改修工事の際に、ご自宅の電気料金の削減や災害時の対策として太陽光発電システムの設置を検討されることが増えています。

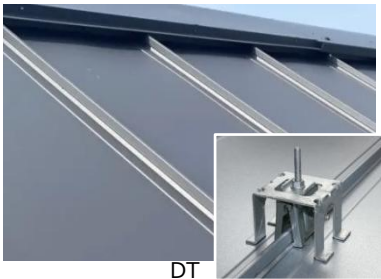
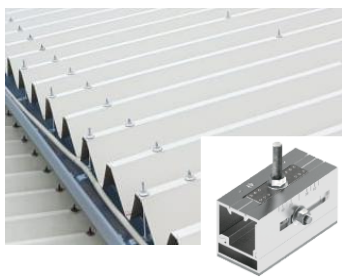
当社も、既存の化粧スレート屋根に、金属屋根（横葺、石粒付鋼板屋根）をカバー工法で使用していただく事が増えてまいりました。

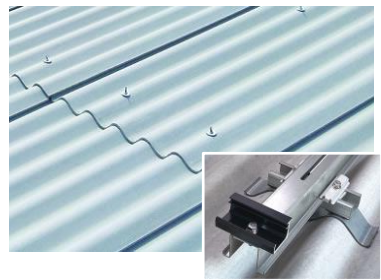
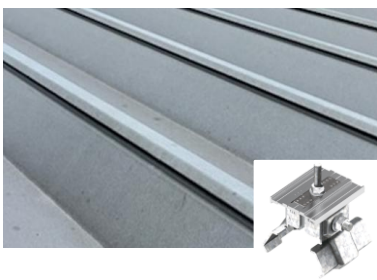
ぜひ、リフォームでの太陽光発電設置の際は、お問合せ下さい。

詳しくは、当社ホームページをご覧ください。>>[株式会社ダイドーハントホームページ](#)

2) 産業用屋根に太陽光架台を設置する場合

太陽光架台を設置する産業用屋根は、以下の種類があります。

屋根種類	金属立平葺屋根	ハゼ式折板屋根	重ね式折板屋根
			
DH商品/ 対応屋根 勾配	DT、DR0 /0.5～6寸 THホルドライト /0.2～6寸 ベース金具Ⅱ /1.5～10寸	HSホルド /0.2～3寸	KSホルドライト /0.2～3寸

屋根種類	大波スレート屋根	嵌合折板屋根
		
DH商品/ 対応屋根 勾配	MV取付金具 /2寸～6寸	KGホルド /0.5～3寸 (BL500に限る)

● PPAと自家消費

非住宅の太陽光発電の設置は、PPA※の導入に自治体や企業が意欲的に地域の補助金などを活用し設置を後押しする動きが見られます。導入企業は屋根上で発電した電気を自家消費し、再生電力の対価をPPA事業者へ支払います。節電効果とカーボンニュートラルの実現への社会貢献が期待できます。

当社では、ご提案できる架台の適合屋根としてハゼ式折板屋根、重ね式折板屋根、立平葺、大波スレートなどがあります。非住宅屋根への設置をご検討の際は、お問い合わせください。

※PPAとは電力購入契約（Power Purchase Agreement）
再生可能エネルギー発電設備を所有する企業や投資家が、電力を消費する企業や自治体、政府などに対して、無償設置し、一定期間（25年～30年）にわたって電力を供給する契約です。

当技術資料は、関連する法令、規格等に基づき作成した参考資料であり、当内容に起因して発生した損害などに、一切の責任を持つものではありません。あらかじめご了承ください。